

## 鳥取東高等学校創立 100 周年記念短歌大会【結果】

主催 鳥取東高等学校 100 周年記念短歌大会実行委員会  
鳥取東高校文芸部



在校生や職員、そして同窓生の方から 118 首の作品を  
応募していただきました。本校国語科 荻原伸教諭（塔短歌会  
編集委員）の審査の結果、以下の賞を決定いたしました。

### ■学校長賞

1年2組 山内 明音

ローファーの音をさがして君を待つ夕焼け空を遠く見ながら

### ■同窓会長賞

1年4組 葦山 葉月

声援が響くコートの前に立ち深呼吸して一步踏み出す

### ■東雲賞（文芸部賞）

職員 下田あゆみ

中庭のパリガーサナをする裸婦像見ながら私は胸を開いた

### 【選評】

#### ■学校長賞

1年2組 山内 明音

ローファーの音をさがして君を待つ夕焼け空を遠く見ながら

東高 100 年の歴史は生徒たちの恋愛と失恋の歴史であったと言えるのかもしれませんが。100 年という時間の中で多くの若人が人に出会い、人に憧れ、人を好きになったことでしょう。さて、この歌。「君」は好きな人と解釈してもいいし親友と解釈してもいいでしょう。いずれにしても、距離の近い、親密な関係の「君」を放課後に待っているという場面です。普通ならその相手の姿を目で探して待つでしょう。でも、ここでは「ローファー」のコツコツという音をたよりに「君」を「さがして」待っています。多くの足音の中に君の足音をさがしているのです。ここが実にいいのです。君のローファーの足音は分かるのです。後半にはさりげなく夕焼けの空が配されています。目は遠く色づく朱色の空をみながら、耳では「音をさがして」「君」を待っているのです。ときめきも焦りもよろこびも言わず、ただ落ち着きのある言葉を選んでシンプルに歌をつくる姿勢。それは君を待つ作者の姿に重なるようです。誰もが体験したことのある「待つ」という行為が 100 周年にふさわしくノスタルジックに誰の胸にもみずみずしく蘇ってくるすてきな歌です。

## ■同窓会長賞

1年4組 葦山 葉月

声援が響くコートの前に立ち深呼吸して一步踏み出す

「声援が響くコート」というのは何か大事な試合なのでしょう。テニス、バスケ、バレー、バドミントン、卓球など。どんな競技でもあり得ますが、なんとなくこれは団体競技ではなく個人とかダブルスのような感じがします。「深呼吸して一步踏み出す」という表現にはそんな誰にも頼れない雰囲気漂っています。だからこそ「コートの前に立」つ自分を落ち着けようと「深呼吸」をするわけです。自分よ、落ち着けと。もちろん同時に、自分の身体の奥底から自分を奮い立たせるものでもあるでしょう。自分しか頼れるものがない中で、「一步踏み出」していく強さが印象的です。

## ■東雲賞(文芸部賞)

職員 下田あゆみ

中庭のパリガーサナをする裸婦像見ながら私は胸を開いた

詳しく知りませんが、「パリガーサナ」はヨガのポーズでしょうか。「中庭」とあるので第一体育館の前にある独特のポーズの裸婦像に違いありません。この「パリガーサナ」という言葉の魅力と本当はヨガをしている訳ではないのにそのようにヨガと結びつける見立てが実に秀逸です。素晴らしいです。そしてこの裸婦像を見ながら自分の姿勢をただす感じ。「胸を開く」というのは胸郭をぐっと開いて姿勢を直すような感じだと解釈します。応募短歌の中で最もインパクトのある秀歌です。

審査員;荻原伸

## ■入選

1年2組 堂前 ひかり

後ろから聞こえる足音待っている君の隣で歩幅合わせて

1年2組 濱岡 愛

グラウンドに大きな声が飛び回り広がっていく空いっぱい

1年2組 松本 菜央

三限後廊下に漂うあの匂いいつか食べると心に決めた

1年4組 市村 智奈

部活後にごほうびとして買うアイス一番好きな友との時間

1年4組 浦木 美帆

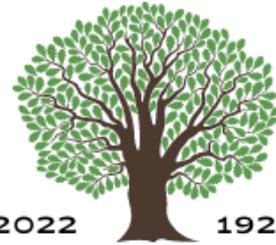
むしあつい教室の中あのころは思いもしないマスク生活

職員 中野 志保

教壇から見える生徒のハ○の瞳マスクの上に輝く

同窓生 谷尾 英次

数学の教師は兄の友達で君は後ろで静かに寝ろと



2022

1922

**TOTTORI HIGASHI**

Like a tree, education was planted  
here 100 years ago.